

第7章 東武大師線（大師前～西新井） 東武亀戸線（曳舟～亀戸）

第1節 東武大師線（大師前～西新井）

大師前（13：10）～西新井（13：50）

平成21年の最初のウォーキングは、2月7日（土）実施。1月は昨年の人間ドックフォローのため、1月は休会となり本日となった。昨日はRits ひやく会があり深夜まで飲んで二日酔い気味であったが、8時過ぎに目が覚める。愛犬セブンの散歩をさせながら、本日のコースをどこにするかを考える。色々熟慮した結果、東武大師線（1Km）と東海道本線（東京＝品川：6.8Km）に思いつく。なお、東京＝品川間は平成12年7月に山手線を通じて踏破済みであるが、東京・新橋・品川の各駅舎の写真を撮っていない恐れがあるため、再度東京＝品川間に挑戦することにする。本日は春を思わせる穏やかな日差しとなる。11時頃、次男坊に南林間まで送ってもらう。



※大師駅

小田急、千代田線、東武線を乗り継いで東武大師駅に向かう。西新井からは2両編成のワンマンカーで1Kmの営業キロを10分間隔位で折り返し運転していた。西新井駅で事前に料金の精算があり、大師駅での精算はなかった。東武の駅員の服装も茶色系から紺系の服装になりイメージチェンジしていた。服装の件は昨年の小泉線踏破の際気がつく。大師前駅には13時10分頃の到着となる。



西新井大師

西新井大師は大師前駅から目と鼻の先にあった。大師内には沢山の店があった。本年一年のウォーキングの安全を祈願する。大師前通りの清水屋で西新井大師名物草だんご（700 円）とまめ屋できなこまめ・カレー味大豆（630 円）をお土産に購入する。茂林寺のぶんぶく茶釜文鎮以来である。13 時 30 分、西新井大師から少し行った先の立ち呑み「たからんちょ」で子供の大好物のかき揚げそばを食べる。10 分間位休息し、1Km 先の西新井駅を目指す。尾竹橋通りの満願寺前を 13 時 41 分通過。西新井駅には 13 時 50 分到着。



西新井駅

< 東海道本線（東京～品川） > ご参考

西新井駅からは少し遠回りとなるが、北千住から乗り換える千代田線ではなく半蔵門線を活用して大手町まで移動する。大手町には 15 時前に到着する。ここから数分歩いて、東京駅に向かう。15 時前に丸ビル辺りから東京駅をカメラに収めようとしたところ、突然電池切れとなる。昨年 5 月の上毛電鉄の西桐生駅以来である。それでコンビニを数十分かけて探すが見当たらず。止むを得ず東京駅の地下街に潜る。15 時 10 分、NEW DAYS でインスタントカメラ（800 円）を購入しフォローする。当然この店にはカメラ電池や APS フィルムを置いていなかった。



東京駅 新橋駅

15時10分、東京駅をカメラに収め、新橋・品川を目指す。途中、15時28分、有楽町駅前のビックカメラに立ち寄り電池（640円）を購入し、レンズが開いたままのカメラを正常の状態に戻してあげる。新橋駅には15時47分到着。改めて新橋のトレードマークの自動車ポップをカメラに収める。路地を通り、国道15号線に出て品川駅を目指す。16時3分、芝大神宮前で救急車と対面する。16時10分、小舟が泊まっていた古川を通過。16時16分、箱根マラソンでよく聞く第一京浜芝の陸橋を通過。16時22分、日野自動車前を通過。16時28分、昨年大河ドラマ（篤姫）で登場した江戸開城の会見地前（慶応4年3月14日、勝・西郷会談）を通過。16時30分、田町駅前にある三田駅を通過。16時43分、笹川記念館前を通過。母を背負った銅像（笹川会長59歳、母82歳）があった。心に残るわが母への讃歌があったのでメモする。

「母背おい宮のきざはし かぞえてもかぞえつくせぬ 母の恩愛」



品川駅

16時52分、泉岳寺前を通過し、品川駅には17時5分到着。数年ぶり通る品川駅の躍進に驚いた。帰りは山手線、千代田線（明治神宮前より）、小田急線を使う。中央林間から歩いて自宅へ。自宅には19時10分到着。本日の営業キロは7.8Km、万歩計は25,982歩だった。春の日差しの中、いい汗をかくことができた。

第2節 東武亀戸線（曳舟～亀戸）

曳舟(11:02)～小村井(11:45)～東あずま(11:55)～亀戸水神(12:10)～亀戸(12:45)

2005年9月18日(日)、両親等の明治座芝居見物終了までの待ち時間を利用して、東武亀戸線(東武曳舟＝東武亀戸:3.4Km)と都営新宿線(大島＝浜町:4.2Km)に挑戦する。昨日は長男が白金の아트グレイスで結婚式・披露宴を挙げる。昨日の感動の余韻が覚めないまま、9時過ぎに両親等を芝の春日旅館に迎えに行き、東京タワーと増上寺で写真撮影後、浜町の明治座にタクシー2台で向かう。日曜日のため、道路が空いていたため、予想以上に早く明治座に到着する。10時過ぎであった。両親等は藤田まこと主演の浮草(人生まわり舞台)の芝居見物。11時開演、終演は15時であった。その間、4時間強の空き時間を利用して、明治座近郊の鉄道のつたい歩きをする。昨日に引き続き、本日も秋晴れであった。少し熱い位だった。都営新宿線で馬喰横山まで移動し、都営浅草線に乗り換え、京成曳舟駅まで移動する。この駅の到着時間は、10時55分だった。



※曳舟駅

そこから、7分歩き、東武京成駅には11時2分到着。京成押上線が絡み、東武亀戸線を探すのに苦労した。押上駅の近郊に行ったので、通行人に行き亀戸線の道筋を聞く。300m位左折して直進すると、亀戸線の踏切が見えた。踏切近郊では秋祭りが終わりこれから打ち上げに向かう人達と出会う。何回かの袋小路をぬぐって、小村井駅(おむらい)には11時45分に着く。東あずま(11時55分)、亀戸水神(12時10分)、亀戸には12時45分到着。途中、亀戸駅前の珍来で昼食。下町の情緒があり、とてもよかった。亀戸線(複線)の電車は2両編成でワンマンカーであった。



※小村井駅、東あずま駅



※亀戸水神駅、亀戸駅

<都営新宿線> ご参考

亀戸駅からは、明治通りを歩き、新大橋通りに出て直進して、浜町を目指す。途中、大島、住吉（13時15分）、菊川（13時32分）、森下（13時45分）を経て、浜町には14時10分到着。コンビニに間食を買い、明治座前の公園で一服する。1時間位のんびりした。両親等と15時15分合流し、自宅を目指す。新宿16時20分のロマンスカーで帰る。自宅には17時30分到着。万歩計は31,135歩だった。